

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI



Monthly Theme

# 現代の遊動民に送る LGSパネルでつくる 竪穴式住居の未来性

LGSパネルを相互にもたれあわせて構成する竪穴式住居。  
定住しながらアクティブに動き回る、  
現代の遊動民にふさわしい住処です。

自然に溶け込む三角屋根の竪穴式住居。壁がほとんどない形状を作ること、強さとしなやかさを両立したため、地震に際しても潰れる心配はご無用。屋根のガルバリウムの下には高性能のフェノール系断熱材を使用します。これが竪穴式住居の茅葺断熱に代わるものです。

Exterior

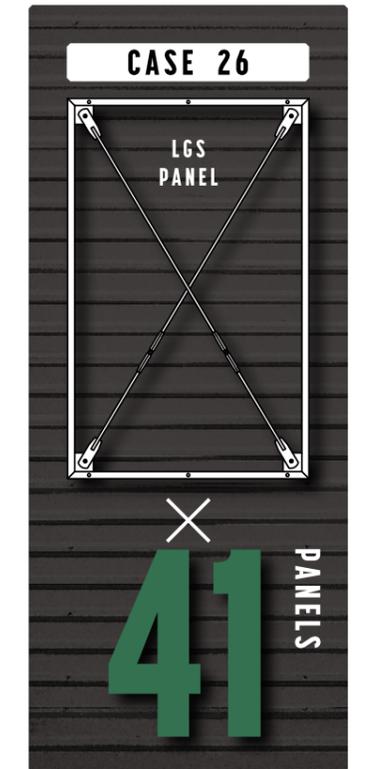


Interior



ガレージと住居部分の接続部は、骨組みだけを連結した中庭になっています。1950年代のアメリカ西海岸の伝説的住宅販売会社「アイクラー・ホームズ」を彷彿とさせる、開放的な半外部空間です。この空間が、細長い建物全体の採光や通風を調整する機能を持っています。

デイトナが提案する  
新しい建築のカタチ



What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

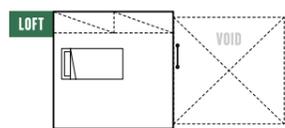
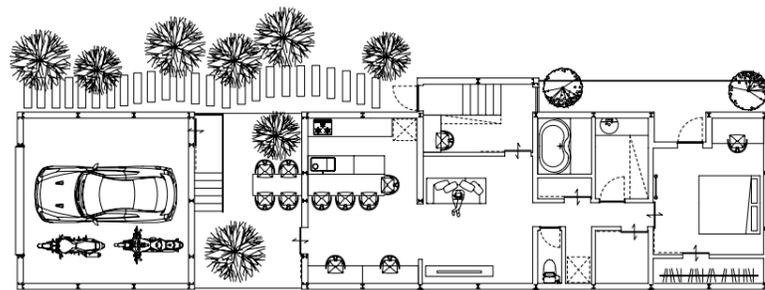
[www.daytona-house.com](http://www.daytona-house.com)

INFORMATION  
**LDKinc.**

代表：玉田敦士  
[www.ldk.co.jp](http://www.ldk.co.jp)  
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

FLOOR PLAN



平面図の右側のゾーンは、基礎を約1m掘り込んだ竪穴式になっています。これによって、屋根の吹き抜け空間の一部ロフトを設定しています。ソファに深く身体を沈めて1万年前の暮らしを想像する楽しさ。建築価格も四角い家に比べてリーズナブルなのも特徴となっています。

縄文遺跡の発掘と新発見がここ数年で進み、今までのイメージと違う、縄文的なるものが世界的に注目を集めています。縄文時代は約1万年も継続したと言われ、そんなに長期間継続した文化は、世界に類例を見ません。そもそも8〜9万年前に遊動生活をしてきた日本列島の人が、約1万6000年前から定住を開始。一説には漁労の網が大型化し、それを運ぶ生活ができない事から定住するようになったとも言われていますが、それが縄文時代のルーツです。一般的には大規模定住して、農耕を開始すると、富や権力の集中と偏在が生まれ、国家や戦争が起ることとされています。戦いが始まると、その文化は目まぐるしく変化します。ところがこの、縄文的なるもの、の素晴らしさは、富の偏在や国家の発生を巧みに回避するルールやシステムを持っていた事にあります。更に縄文人は大自然との調和を基調にした宗教形態を保っていたそう、それも近代文明を新しい方向へ導いていくヒントになるのではないかとされています。

今回は、定住しながら好きなタイミングでクルマやバイクで遊動する生活を送る、現代の原始人の為の家を考案しました。この家では、LGSが相互にもたれあう形で骨格を構成しています。骨格を見せて、屋根(壁)の断熱性を高め、そして炉を家の中心に据える。これらの要素が竪穴式住居だとすれば、この家は文字通り現代原始人の住処です。自然と調和しながら、地震に強い。21世紀型の旧くて新しい家のカタチなのです。

Text/Atsushi TAMADA

## デイトナ不動産

デイトナ不動産  
NEWS 01

# ハードボイルドな鉄の素材感を体感してください 浜松“夜のオープンハウス”を開催します！

先ごろオープンした浜松のショールームで来る8月5日(日)にオープンハウスイベントの開催が決定。しかもなんと、“夜のオープンハウス”です。

デイトナハウスの艶消し黒鉄骨の素材感は、夜間のスポット照明によってさらに際立ちます。まるで鉄骨が語りかけてくるかのような静かな時間。これは良質なガレージ空間に格納されたお気に入りのクルマやバイク、あるいは釣りやキャンプの道具類を眺めるときにも感じる、男性独特の感覚と言えるかもしれません。饒舌はいらない、濃密な時間と空間。

このイメージをハードボイルド感と呼んでいます。狩猟民のDNAが蘇っているのかもしれませんが。デイトナハウスの鉄骨空間が醸し出す、その空気感を特にピンピン感じられるのはやはり夜なのです。

今回のイベントはそれを体感できるユニークな試み。屋外ではBBQとデイトナプロデュースのクラフトビール[BREWBASE]もウェルカムドリンクとして用意しています。駐車場も完備して、帰りのタクシー代行ともタイアップ予定。デイトナハウスの夜の鉄感を実感してみたいはいかがでしょうか？

**BREWBASEも特別に飲みちゃいますよ！**



当日はデイトナプロデュースのクラフトビール[BREWBASE]も飲みちゃいます。クラフトビールとデイトナハウス。妥協を拒否したストロングスタイルのコラボレーションが今から楽しみです。



ここに訪れると最初に反応してしまうのは、分解式らせん階段“ダイナソーボーン/恐竜の背骨”です。3フロア分突き抜けた大黒柱のような銅鉄ボールとそれを取り巻くステップの素材感、独特のリズム感。恐竜の化石のような不思議な時間感覚。是非体感してください。※要電話申し込み



Daytona HOUSE × LDK shizuama 静岡県浜松市中区葵西5-23-23 053-482-7415 www.balancedesign.jp/daytonahouse



デイトナ不動産  
NEWS 03

## 兵庫県相生市のフラットハウスは7月7日にオープンハウス開始

兵庫県は相生市の相生駅から5分の場所に、高床式のフラットハウスのモデルルームがOPEN。不思議な浮遊感を発しながら、案外周囲の環境にもフィットしています。いよいよ来る7月7日にオープンハウス期間がスタートします。ふわりと浮き上がったフォルム(縦横比率)のカッコよさ。専用ガレージの鉄骨素材感とヴィンテージカーの共鳴など、見どころ満載です。住宅のみならず、ロードサイドの店舗や傾斜地のウィークエンドハウスにも応用可能。是非チェックしてみたいはいかがでしょうか？ お手数ですが来ていただく際は予め電話予約をお願い致します。

Daytona HOUSE × LDK WEST HYOGO 0791-23-5571 mino-daytonahouse.com

デイトナ不動産  
NEWS 02

## 足立区のGLB『BLACK HANGER』WEBでの事前募集スタート

いよいよ東京足立区皿沼にガレージアパートメントGLBがデビュー。9月の竣工に向けて、WEBサイト上で事前賃貸募集が始まります。現在は、鉄骨建て方を完了して外装工事中。バイク格納庫、クルマの出撃基地にお悩みの方々。いよいよ東京での新しいモーターライフの幕開けです。単なる置場ではない、出撃基地・格納庫としてのガレージの再定義。東京らしいファサードの全面ガラスウォールも設定されています。

詳しくはdaytona-house.com/blackhangerで検索ください。

